

## 3級 実技試験(作業試験)問題

次の注意事項に従って、課題1～3を行いなさい。

### 1. 試験時間

課題	標準時間	打ち切り時間
1. 弾性床清掃作業（ドライバフ法）	12分	14分
2. ガラス面洗浄作業	8分	10分
3. トイレ日常清掃作業	8分	10分

### 2. 各課題共通の注意事項

- (1)実技作業試験は、受検者ごとに異なった日程で、午前と午後の部に分けて実施します。受検票に記載されている受付時間を厳守し、集合して下さい。
- (2)受付は、午前の部は8時30分に、午後の部は12時30分に行いますので、それまでに着替えを済ませ、控え室で待機して下さい。受付後はオリエンテーションを行い、午前の部は9時から、午後の部は13時から、それぞれ実技作業試験を行います。
- (3)遅刻は、公的公共機関の遅延等の理由で、受付までに試験事務局まで連絡があった場合には、試験開始後30分までは認める場合があります。試験開始時刻までに試験会場に現れず、かつ試験事務局に対して何ら連絡がない場合には欠席扱いとします。
- (4)3課題のすべてを受検しない場合、必ず試験官に伝えて下さい。受検しない課題は棄権したものとみなします。
- (5)課題ごとに設定された標準時間を超えて作業を行った場合、超過時間に応じて減点となり、打ち切り時間を超えた場合には失格となります。
- (6)支給された材料の品名・数量が、各課題の「支給材料」のとおりか確認して下さい。
- (7)支給された材料に異常がある場合は、試験官に申し出て下さい。
- (8)支給材料と受検者の持参するもの以外は使用してはいけません。
- (9)使用資機(器)材は、使用資機(器)材等一覧表で指定したもの以外は使用してはいけません。
- (10)作業試験は、課題1～3について、試験官の「始め」の合図で開始して下さい。
- (11)受検者は、試験官の「始め」の合図で、試験官が聞き取れる大きさの声で「始めます」と作業開始を申告します。また、各作業試験の終了は、「終わりました」と試験官が聞き取れる大きさの声で作業終了を申告します。
- (12)作業試験開始後は、原則として支給材料は再支給しません。
- (13)服装等は、作業試験に適したものとします。
- (14)資機(器)材等の貸し借りは禁止とします。
- (15)作業試験中は、他の受検者の迷惑となるため、声を出さないで下さい。
- (16)携帯電話は作業試験場への持ち込みを禁止します。
- (17)試験待機中は私語を慎み、必要以外に、受検者控え室から離席しないで下さい。

### 3. 失格要件

- (1) 課題1～3のうち一つでも作業試験が未終了の場合(各課題において「打ち切り時間」を超過した時点で作業試験が終了していない場合)
  - (2) 作業の一部を省略するなど、作業手順を著しく誤った場合
  - (3) 著しく不安全な作業をした場合
    - ① ポリッシャー(床みがき機)にコードが巻き込まれたとき
    - ② ポリッシャー(床みがき機)の操作技術が未熟でコントロールができないと判断されたとき
    - ③ 転倒したとき又は他人にケガをさせたとき
- オリエンテーション時に、課題1のポリッシャー操作の可否について受検者に確認して、ポリッシャー操作ができない場合は、課題1は「棄権」といたします。また、課題1の作業中であっても、試験官が危険あるいは未熟だと判断した場合、作業を中断させます。
- ④ トイレ(大便器)に資機材を流したとき
  - ⑤ 温水洗浄便座のノズルや操作パネル等、器物を破損したとき
  - ⑥ その他上記と同程度の誤りを起こしたとき
- (4) 支給された資機(器)材以外のものを使用したとき。また、用意する資機(器)材を間違えたとき、あるいは不足していたとき
  - (5) 指示された持参品を忘れた場合
  - (6) 課題2のスクイジー操作で、スネーク技法を行った場合
  - (7) ポリッシャーのスタンド等、誤った操作等で資機材を破損させた場合
  - (8) 本人の不注意により、本人が作業に支障を来す負傷を負った場合、また他人を負傷させた場合

### 4. 課題1「弾性床清掃作業(ドライバフ法)」

次の仕様及び注意事項に従い、指定された弾性床清掃作業を行いなさい。

#### (1) 仕様

- ① 作業試験場の床は、塩化ビニル系床材を合成樹脂系床維持剤で仕上げている。
- ② 作業面積は、壁面を想定した高さ10cmの組み立て式幅木で囲まれた16㎡である。
- ③ 幅木の一辺には、幅1.2mの出入り口がある。
- ④ 作業カート、ポリッシャー等の使用する資機(器)材及び机等の備品配置は、標準配置図に示す。
- ⑤ 汚れは、おが屑を代用し、幅木内に均一にまかされている。

#### (2) 作業手順

作業手順を次に示す。

- ①作業準備 →②除塵 →③バフ掛け(ポリッシャー操作) →④拭き上げ  
→⑤資機(器)材の手入れ →⑥後始末

#### (3) 試験時の注意事項

- ① 幅木内に設置されている机は動かさない。
- ② 乾式モップの不織布(ダストクロス)は、各受検者が取り付け、取り外しを行う。
- ③ 作業は、白パッドを用いて行い、ポリッシャーの取扱いは十分に注意する。

- ④使用した資機(器)材は、手入れを行い、作業試験開始前の状態に戻す。
- ⑤作業試験終了後、使用した資機(器)材の片付けについては、試験官の指示に従う。

(4) 支給材料

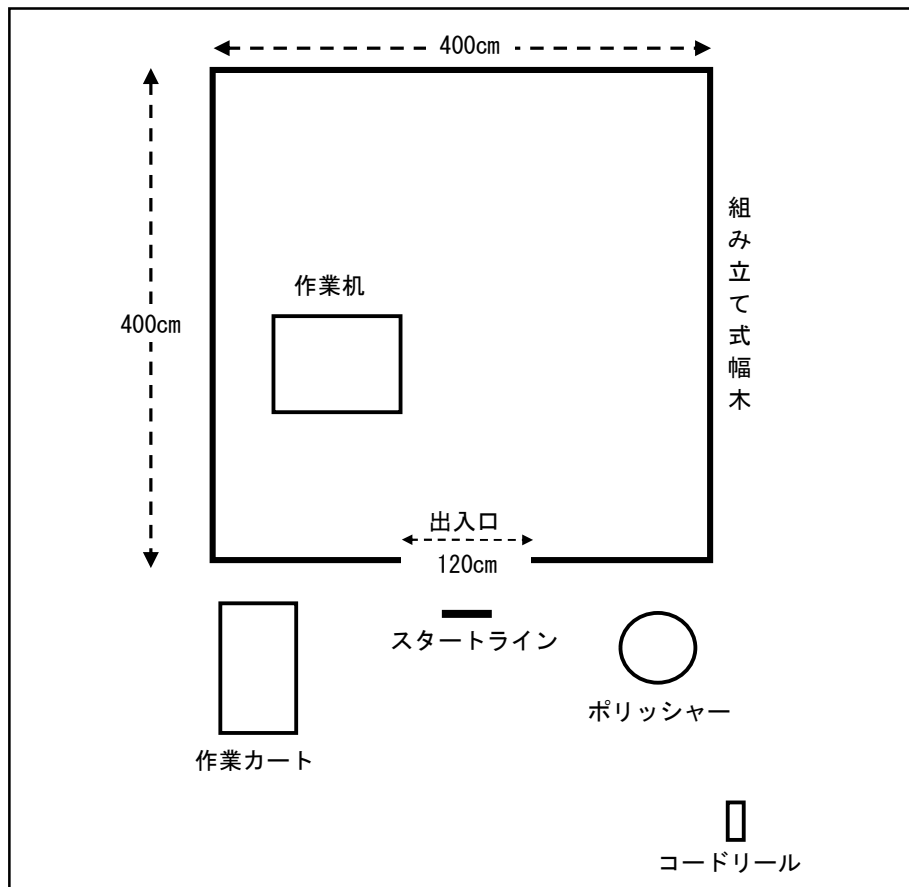
品名	規格等	数量	備考
ダストクロス		1枚	不織布

(5) 試験前の準備作業

準備室において、次のものを用意し試験開始まで待機する。

- ①乾式モップヘッド1本にダストクロス1枚を装着する。
- ②モップ柄の長さを使いやすい長さに調整する。
- ③タオル2枚（白色1枚、青色1枚、無地、綿製、薄手、長さ80cm程度）をよく絞る。
- ④モップラグ(房糸) 1枚をよく絞る。
- ⑤収納ケースに、タオル2枚、モップラグ1枚を入れ、ケース上部にダストクロス装着済みの乾式モップヘッドを乗せて、モップ柄とともに移動できるようにする。

<標準配置図>



5. 課題2「ガラス面洗浄作業」

次の仕様及び注意事項に従い、指定されたガラス面洗浄作業を行いなさい。

(1)仕様

- ①作業試験場のガラス面洗浄用模型は、板ガラスの周囲をアルミ枠で囲んでおり、高さは1.6m。板ガラスの面積は、片面2 m<sup>2</sup>(タテ1m×ヨコ2m)である。
- ②作業は、ガラス面の外側・内側で異なる資機(器)材を用いて行う。
- ③汚れは、ガラス面の外側には、着色液を代用し3箇所汚れが記され、内側は、マーカーを代用し、1箇所の汚れが直線で記されている。
- ④外側は、シャンパー（横拭き）とスクイジー（縦引き）、内側は、タオル（縦拭き）とスクイジー（横引き）で、それぞれ異なる作業を行う。

(2)作業手順

作業手順を次に示す。

- ①作業準備 →②洗浄液塗布 →③スクイジー操作 →④枠拭き上げ
- ⑤資機(器)材の手入れ →⑥後始末

(3)試験時の注意事項

- ①洗浄液は洗剤を水で1,000倍に希釈(洗剤容器のキャップ半分を水バケツに入れる)し作る。
- ②作業は、ガラス面の両面で異なる資機材及び作業方法で作業を行う。
- ③使用した資機(器)材は、手入れを行い、作業試験開始前の状態に戻す。
- ④作業試験終了後、使用した資機(器)材の片付けについては、試験官の指示に従う。

(4)支給材料

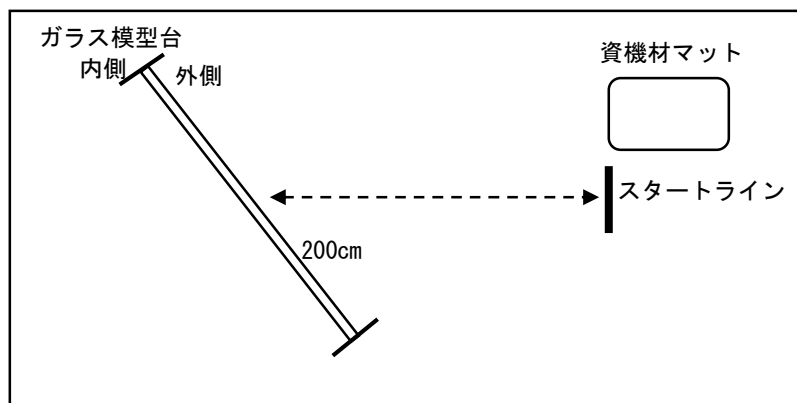
品名	規格等	数量	備考
洗浄液	中性洗剤を水で1,000倍に希釈して作る	7,000mL	洗剤は専用容器に入っている

(5)試験前の準備作業

準備室において、次のものを用意し試験開始まで待機する。

- ①持参した乾いたタオル1枚（白色、綿製、無地、薄手）

<標準配置図>



## 6. 課題3「トイレ日常清掃作業」

次の仕様及び注意事項に従い、指定されたトイレ日常清掃作業を行いなさい。

### (1)仕様

- ①トイレは、温水洗浄便座付きの洋式大便器模型を用いる。
- ②作業は、温水洗浄便座、洋式大便器の便器ボウル内側及び外側を行う。
- ③汚れは、墨汁を代用し、温水洗浄便座、洋式大便器の便器ボウル内側及び外側に4箇所、記されている。

### (2)作業手順

作業手順を次に示す。

- ①作業準備→ ②温水洗浄便座の清掃→ ③便器ボウル内側・外側の清掃
- ④資機(器)材の手入れ→ ⑤後始末

### (3)試験時の注意事項

- ①温水洗浄便座（操作パネル、ノズル、脱臭フィルター等含む）の取り扱いに十分注意する。
- ②クロス（超極細繊維製タオル）の使い分け（カラーリング）に十分注意する。
- ③使用した資機(器)材は、手入れを行い、作業試験開始前の状態に戻す。
- ④作業試験終了後、使用した資機(器)材の片付けについては、試験官の指示に従う。

### (4)支給材料

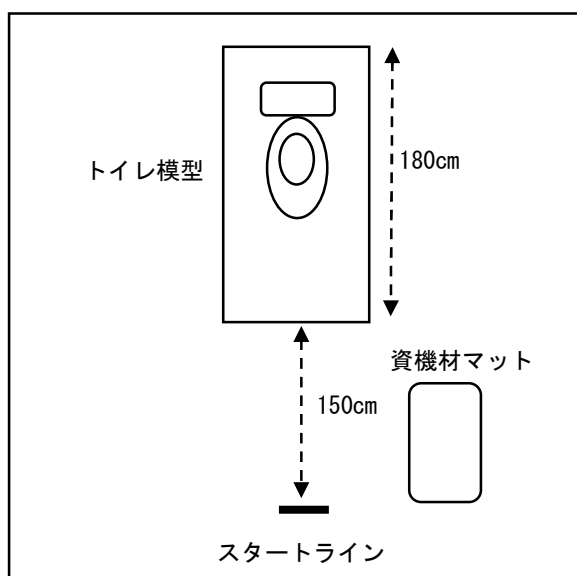
品名	規格等	数量	備考
洗剤	水	500mL	洗剤容器入り

### (5)試験前の準備作業

準備室において、次のものを用意し試験開始まで待機する。

- ①持参した保護手袋

#### <標準配置図>



## 7. 使用資機(器)材一覧

### (1) 受検者が持参するもの

品名	規格等	数量	備考
作業衣(上下)		1着	
作業靴		1足	ヒールマークがつかないもの
タオル	白色、綿製、無地、薄手、長さ80cm程度	1枚	課題2用
保護手袋		1組	水が浸透しないもの

注) 試験当日は、受検票に同封します「体調確認チェックシート」を受付に提出してください。

### (2) 準備室・試験場に用意されているもの

#### <課題1>

品名	規格等	数量	備考
作業カート	ビルメンカートL	1台	
ポリッシャー	14インチ・レバースイッチ式高速ポリッシャー	1台	安全スイッチ・タンク・スタンド付き
パッド台	15インチ・洗剤流下式、4爪	1個	
パッド	15インチ	1枚	白色
乾式モップヘッド	台形 63cm	1本	「FXライトモップフォルダー」
ダストクロス	W69×L20.3cm	1枚	「再生PETダスター」
モップ柄	φ22アルミ製パイプ L150cm	1本	伸縮式
モップラグ(房糸)	ワンタッチラグ替糸 D23cm、糸長21cm、重さ260g	1枚	拭き上げ用
小型ぼうき	W26×L101cm	1本	「CL-465-210」
文化ちり取り	W28.5×D31×H67cm	1個	「エコBM-2」
作業標示板	W27.5×D42×H62cm	1個	「清掃プラパネルⅡ」
養生マット	ポリッシャー用マット W50×L50cm 出入り口用マット W45×L150cm	1枚 1枚	
ドライバー	マイナス溝 L30cm	1本	
コードリール	30m巻き、コンセント3~4個口用	1台	
漏電・過電流防止装置	過負荷 15A、定格感度電流 15mA	1個	「PIP-EK-N」
タオル	白色・青色、無地、綿製、薄手、長さ80cm程度	各1枚	白色：資機材用 青色：床用
収納ケース	プラスチック製 W25×L30×H24cm	1個	内部仕切り付き
組み立て式幅木	W400×D400×H10cm	1組	アルミ製
組み立て式事務机	W65×D90×H74cm	1個	

#### <課題2>

品名	規格等	数量	備考
水用バケツ	13L、水用、洗浄水用	各1個	
収納ケース	プラスチック製 W25×L30×H24cm	1個	
洗剤容器	500mL	1個	

シャンパー	W35cm	1本	
シャンパーホルダー	L35cm	1本	
窓用スクイジー	W35cm	1本	
タオル	白色・青色・黄色、無地、綿製、薄手、長さ80cm程度	各1枚	白色：水拭き用 青色：床用 黄色：手拭き用
専用ガラス台模型	ガラス台 W200×D5×H160cm 板ガラス部分 W200×H100cm	1式	
養生マット	資機材置き場用 W85×L120cm	1枚	

<課題3>

品名	規格等	数量	備考
システムバケツ	13L	1個	赤色
収納ケース	プラスチック製 W25×L30×H24cm	1個	灰色
トイレ用洗剤容器	500mL	1個	
トイレ用スポンジ	長さ15cm	1本	柄付きブラシ
クロス（超極細繊維製タオル）	W40×L40cm	各1枚	赤色：洗剤拭き用 黄色：水拭き用（洗剤拭き後の水拭き） 白色：水拭き用 緑色：ノズル拭き用
タオル	青色、無地、綿製、薄手、長さ80cm程度	1枚	床用
作業標示板	W27.5×D42×H62cm	1個	「清掃プラパネルⅡ」
養生マット	資機材置き場用 W60×L90cm	1枚	
大便器用養生シート	大便器置き場用 W90×L180cm	1枚	青色
温水洗浄便座	W48×D52.2×H17.3cm	1式	「ウォシュレットSB」
洋式大便器	W44.5×D77.2×H87.8cm 4.8L	1式	「ピュアレストQR」